



音力発電 社長  
Kohei Hayamizu  
**速水 浩平**

- A1 25歳。修士1年で起業したとき
- A2 無駄になっているエネルギーの活用
- A3 夢と情熱。
- A4 帰宅中、鼻歌を歌う
- A5 理想とする自分
- A6 特になし
- A7 道路発電を実現させていたい
- A8 あきらめない人



Oneola Inc.社長  
Syunta Shimizu  
**清水 俊太**

- A1 29歳。陰陽師に、リーダーになるべきと言われた
- A2 自分の中にある
- A3 One for All, All for One
- A4 サッカー、ビール、そして娘の笑顔
- A5 同業者の妻
- A6 常に人に感謝すること
- A7 ハワイに治療研究所を設立していたい
- A8 頑固なラッキーボーイ



Nacora USA, Inc 社長  
Ryuta Toyoshima  
**豊島 竜太**

- A1 26歳。米国で就職が内定したがビザが下りなかった
- A2 自分のマーケティング力次第
- A3 平凡×数=非凡
- A4 海岸沿いをドライブ、サーフィン
- A5 LAで人気のカフェ「Urth Cafe」
- A6 シーンによって決まったタイをする
- A7 LA近郊で店舗を増やす
- A8 いつでも成長期



シブヤ大学 学長  
Yasuaki Sakyu  
**左京 泰明**

- A1 26歳、猪子寿之氏から言われた言葉
- A2 自分たちの「実感」できること
- A3 ラグビーとは修養である
- A4 妻との日常(4月末に結婚したばかり)
- A5 西水美恵子さんに憧れている
- A6 机上の整理に始まり、整理で終える
- A7 経営者としての実力をつけたい
- A8 迷わず飛び込め!

# Training People

前向きな男たちに聞く!

## Question

- Q1 人生の転機になるようなことはありましたか? それは何歳ぐらいで、どんなことでしたか?
- Q2 これからのビジネスチャンスはどこに(何に)あると思いますか?
- Q3 座右の銘、好きな言葉は?
- Q4 仕事で煮詰まったときはどうしていますか? あなたのリフレッシュ法は?
- Q5 あなたのライバルは誰ですか?
- Q6 びん 験かつきでしていることは?
- Q7 10年後にどうなっていたい?
- Q8 自分にキャッチコピーをつけるとしたら?



フローレンス 代表  
Hiroki Komasaki  
**駒崎 弘樹**

- A1 高校生の時のアメリカ留学
- A2 「独立自尊」で立つ場所
- A3 あなたが見たいという変革に、あなた自身がなりなさい
- A4 あえていえば、定時入社、定時退社
- A5 自分自身(自分のエゴ)
- A6 11時睡眠、6時起床のリズム
- A7 社会の大きな問題を解決したい
- A8 日本のチェ・ゲバラ



EIベックス・マネージメント  
マネージメント本部 芸能部  
スポーツ・カルチャー課 主任  
SEAN  
**シヨン**

- A1 中学の頃、アメスクのサマースクールが原点です
- A2 どんな瞬間にもアンテナを張る
- A3 一期一会
- A4 気分をあげるエクササイズ
- A5 皆がハッピーが信条なので考えたことがない
- A6 常に笑顔でいること
- A7 周りの人と一緒に笑っていたい
- A8 あえて言うならオリジナル



農家のこせがれ  
ネットワーク 代表  
Yusuke Miyaji  
**宮治 勇輔**

- A1 大学時代の初めてのBBQパーティ
- A2 自分の「情熱」をささげられる世界
- A3 情熱を持ち続けることが才能だ
- A4 ビジネス書or歴史小説の読書
- A5 自分自身
- A6 毎朝、外での体操
- A7 農業が小学生の希望職種第1位に
- A8 農業プロデューサー



Oisix 取締役・商品開発担当  
Hiromasa Furufu  
**古府 裕雅**

- A1 大学卒業直後のOisixの立ち上げ
- A2 不況こそチャンス 農業や地方
- A3 常識を疑え
- A4 料理と阪神タイガースの応援
- A5 お客様
- A6 運がいいので、していません
- A7 安全・健康を創るフロントランナー
- A8 常識 チャレンジャー



サッポロビール「麦とホップ」  
ブランドマネージャー  
Naoki Yoshida  
**吉田 直樹**

- A1 多種多様な人と出会った大学入学時
- A2 意外と“近い”ところにある
- A3 今日できることは今日やる
- A4 煮詰まらない
- A5 ドラフトワン担当者の武田悟季
- A6 毎日、同じ曲で目覚める
- A7 マイホームパパ(現在、未婚)
- A8 仕事きっちり、遊びしっかり



経済アナリスト  
(某銀行チーフストラテジスト)  
Daisuke Uno  
**宇野 大介**

- A1 毎日の人との出会い
- A2 日本帰帰
- A3 摂生・寛容・余裕
- A4 マッサージ、入浴
- A5 去年の自分
- A6 毎日の同じ生活リズム
- A7 その10年分の価値がある人
- A8 あまのじゃく

どうせやるなら研究も仕事も  
好きなことをやったほうがいい

音力発電  
社長

## 速水 浩平



'08年12月に行われた渋谷駅ハチ公前広場での発電床の実験。一日およそ70万~90万人が通るハチ公前広場全面に発電床を敷けば、40ワットの蛍光灯400本が24時間つけられる計算だとか。



口に当てて話す音声で発電する音力発電装置。ほかにボタンを押して発電するリモコンなど、様々なアイデアが形になっている。

速水さんが開発した発電床。上に乗った人の動きに合わせて点滅する電球の光で、振動が電気に変わっていることが分かる。



**床** に置かれた長方形のパネル。その上に人が乗ると、人の動きに合わせて繋がれた数多くの電球がいつせいに点滅する。これが速水浩平さんの発明した「発電床」だ。振動を利用して発電するというアイデアは速水さんが小学生の頃から温めていた夢を実現させたもの。「電気でもーターを回転させることで発電する仕組みを習った時、電気から音、音から電気を作ることもできるのではないかと考えたんです」それから速水さんは、一貫してこのアイデアを実現するにはどうすればよいかを考えて行動してきた。大学進学でも「自分がやりたいテーマやらせてくれる」という理由から慶應義塾大学SFCを選んだ。

「こうしたらやり方を貫く自分について速水さんは「こだわりが強く、納得するまでやめない性格。一度決めたら納得するまで変えません」と話すが、それが、自分に確固たる目標と進むべき道が見えているからこそできることでもあるだろう。周りにも「好きなことを頑張れ」と話すと、「研究も仕事も好きなことをやるほうがいい。私もやりたいことをやるために会社を作り、そのためにSFCに来たので」

現在、音力発電には約3,000の応用リストがあるという。「今すぐ実現化できるもの、発電効率が10倍になればできるものなどを細かく分けたリストだ。これら、いわば次の目標たちが達成されたとき、生活するだけで必要な電力を発電できる究極のエコ時代がやってくるのだろう。」

### PROFILE ▶▶

1981年生まれ。慶應義塾大学修士課程在籍中の'06年、株式会社音力発電を設立して代表取締役役に就任。動く人や車の振動で発電する「発電床」などエコ発電技術全般の研究開発および商品の製造販売などを行う。



僕ではなく、僕の“志”を  
みんなが応援してくれている

フローレンス  
代表

## 駒崎 弘樹



フローレンスでは、「保育の闇」と言われ、多くの親が欲してきた病児保育、という事業に取り組む。会員を募り、月会費により運営するシステムで、現在登録世帯は700。事業も軌道に乗っている。



新著「働かざる者革命」(ちくま新書)。「仕事か家族か」という二者択一ではない、多様な生き方を提案していきたい」と駒崎さん。

「ある意味、坂本竜馬は日本のソーシャルビジネスの生みの親では?」。キーホルダーは、尊敬する竜馬。事務所の机の横にはポスターも貼ってある。



**か** つては、1丁系学生社長という誰もが羨むポジションにいた。だが、駒崎弘樹さんは、何か引っかけた。

それまでは「社長1人と違う」とことが自慢だった。だがこれは「他人との比較」ありきだ。実は、人への依存じゃないか? 自分の外側じゃなく、内に目を向けるべきじゃないか? 駒崎さんは自問自答した。自分は、本当は何がやりたいのか。

「日本の社会の役に立ちたい!」駒崎さんの出した結論だった。だが社長を辞めるのは怖い。肩書がはがれたら何でもない自分になる。だが、死ぬ訳じゃない。やりたいことをやるのはリスクじゃない。

駒崎さんが取り組んだのは、「病児保育」だった。子供が病気になる

保育園や幼稚園では預かってもらえず、親は会社を休まざるを得ない。それが理由で退職に至るケースや就職すら難しいという実態があった。「何度も失敗しました。でも使命感が育っていたんです。応援してくれたお母さんたちの顔も浮かんだ。結果的に、多くの人間に助けられて、軌道に乗りました。これは「僕」を応援してくれたんじゃないんです。「志」を応援してくれたんだ」と。

フローレンスは、「子育てと仕事をして自己実現のすべてに、誰もが挑戦できる、しなやかで躍動的な社会」というビジョンを掲げる。

「名刺に印刷して、それを定期入れの中に入れて、いつも見返しています。今では、自分の作った「理念」に自分が励まされていますね」

Gaining  
People  
前向きな男たちに聞く!

疑問を感じたとき、道は決まった。  
社会を変える革命児たち

### PROFILE ▶▶

'79年生まれ。慶應義塾大学在学中にITベンチャーの経営に参画、代表取締役。'05年よりNPOフローレンスの活動を開始。'07年ニュースウィーク「世界を変える社会起業家100人」に選出。  
www.florence.or.jp